

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和3年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市民文化体育館(アスカル幸手)
施設所管課	教育委員会 社会教育課（内線 644,645）
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（3年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅰ 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	4	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	4	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか	3	3
		備品などの設備の維持管理は適正であるか		
	3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか	3	3
		利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		
	4 指定事業・自主事業			
(1)指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	3	
(2)自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 評価 安定 性の ス	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・II・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	80 100	76 100

総 括	指定管理者の自己評価	○総評 ・運営面においては、令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じた上で運営いたしました。前年度は4月～5月まで休館していた影響もありますが、利用者は着実に回復傾向にあります。しかし、トレーニング室の利用状況はコロナ禍以前の5割程度となっており、回復に向けては更なる取り組みが必要と考え、新たにサブアリーナの照明設備や音響設備を利用した暗闇ズンバや祝日特別プログラムなどを企画しトレーニング室の魅力向上に努めました。 ・管理面においては、トレーニング室のマシン交換やメインアリーナ照明のLED交換、メインアリーナ1F女子トイレの洋式化工事などお客様が快適に利用できる施設づくりに本年度も努めました。 ・事業面においては、梅沢富美男劇団公演をはじめとするコンサートを3公演開催したほか、ラグビーワールドカップ2019の日本代表田中史朗選手を招聘してのさくら小学校へのアウトリーチ事業や本施設を拠点として活動するSATTE新体操クラブ様との協働によるスポーツフェスティバルを開催いたしました。こうした取り組みにより、本施設を通じて地域の方々が集まり・交流する地域の拠点づくりや本施設のPRに寄与できたものと考えます。 ○事業評価4の理由 I 1(3)利用の促進・・・HPやfacebook、公式LINEを活用し積極的に情報発信を行ったほか、トレーニング室の回復に向けて、暗闇ズンバや特別プログラムを企画し実施したため。 I 4(1)指定業務・・・コロナ禍の難しい中でも、対策をとったうえで、2003年より実施している第九コンサートに替えて幸手市民音楽会を開催することで、市民による合唱の場を提供し、848名の方を集めることに成功したため。また、トレーニング室のプログラムについても利用の促進に向けて積極的に創意工夫し実施したため。 II 1利用者満足度・・・本年度も施設の総合的な満足度で93.7%と高い満足度をいただいているため。 II 4(1)指定事業・・・市民の皆さまによる合唱のみならず2年ぶりに伊奈学園総合高等学校吹奏楽部(全日本吹奏楽部金賞16回受賞)をお招きし開催するクオリティの高い事業を、500円というお手軽価格で実施することでご来場いただいた方には大変喜ばれ、満足度は84%の高評価を得たため。また、トレーニング室のプログラムは密を避けるため、サブアリーナで実施すると共に舞台管理スタッフ4名による照明設備や音響設備を用いた暗闇ズンバを実施することで高いクオリティの事業としたため。 II 4(2)自主事業・・・教室系についてはヨガからチアダンスやヒップホップダンス等大人から子どもまで幅広い対象に向けてプロを含む経験豊かな講師を招いて開催したこと。ホール事業については、コロナ禍の中緊急事態宣言やまん延防止が繰り返され開催の見通しが難しい中でも、コロナ対策や利用制限を設けながらも梅沢富美男のような大型公演を開催することでお客様に喜ばれるクオリティの高い事業の開催維持に努めたこと。音楽の絵本公演では、地域福祉への更なる貢献として閉園する幸手市立吉田幼稚園の園児及びその関係者の方47名や地域の社会福祉協議会の方58名を無料招待し、皆さまの思い出となるホール事業の開催に努めたこと。また、幸手市におけるスポーツの拠点としての自負を持ち更なるスポーツ振興に寄与するため、さくら小学校様にもご協力いただきラグビー元日本代表の田中史朗選手を招いてのアウトリーチ事業(公演会と体験会)を開催しました。本事業の様子は日本テレビ「NEWSゼロ」をはじめとした、各種メディア等にも取り上げていただき高い関心と呼ぶとともに本市のPRにも寄与できたクオリティの高い事業としたこと。こうした取り組みから自己評価4をつけさせていただきました。
	施設所管課の評価	協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。 施設の管理・運営については、照明設備や音響設備をうまく活用した暗闇ズンバを企画するなど、運営面でのコロナ禍での利用促進に向けた取り組みがみられた。また、管理面においては、適宜必要な修繕を実施していたほか、本年度もトイレ洋式化に取り組みなど利用者の利便性向上への取り組みがみられた。 各種事業の実施については、ラグビーワールドカップ2019日本代表である田中史朗選手を招いたアウトリーチ事業をはじめとした魅力的な自主事業を実施した点について評価したい。

総合評価	区 分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)